



光の子だより

令和8年1月9日
千葉市立作新小学校
校長 金谷 英味

学校教育目標:一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたかく たくましい」子どもの育成

あけましておめでとうございます

冬休みを終え、校庭に子どもたちの明るい声が戻ってきました。冷たい空気の中でも元気に走り回る子どもたちの姿に、私たち教職員も身の引き締まる思いです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

一月は「睦月(むつき)」とも呼ばれます。親族が集まり仲睦まじく過ごすことが由来とされていますが、学校においても、友達や先生と心を寄せ合い、温かな人間関係を育む一か月にしたいと考えております。

今年の12月5日(金)に「作新小学校創立50周年記念お祝いの会」を無事に行うことができました。子どもが主体となる、温かい雰囲気となりました。周年事業の実施に当たり、地域の皆様をはじめ、保護者の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、この場を借り、厚く御礼申し上げます。

学校では長期休業前と休業明けに、全校集会が開かれます。そこで子どもたちに話した内容の一部を紹介したいと思います。

【エコキャップさくっしい】



12月号でも紹介したエコキャップさくっしいは職員玄関近くの廊下に取り付けようと思っています。

〈冬休み前〉 「贈り物(プレゼント)」



まず、左のプレゼントの箱を見せると、歓声が沸きました。子どもたちは「何かもらえる?!」と期待をしたようですが、そこから話を始めました。

「贈り物」には、“目に見える(お金で買える)贈り物”と“目に見えない(お金で買えない)贈り物”があることを伝えました。それぞれについて、どのような物があるのかを一緒に考えました。心のこもった「ありがとう」「おいしかった」などは誰もがができる贈り物だと伝えました。冬休み中に目に見えない贈り物を誰かに届けてほしい、誰かから目に見えない贈り物を受け取ったことに気が付けるとさらに素晴らしい、ということをお話しました。冬休み中、お子さんからの贈り物があつたことと思います。

〈冬休み明け〉 「十二支」

図書室の絵本をもとに「十二支」について話をしました。絵本には「元日の朝、一番早く神殿に新年の挨拶に来たものから12番目までをその年のリーダーにした」となっています。しかし、実際の動物の移動が早い順は違っています。もし、本当の早い順ならば、トラやウマ、ハヤブサの仲間ばかりの12匹になっていたことでしょう。でも、十二支に選ばれたのは、体の大きさも、得意なことも違う動物たちです。人間もみな、得意なことが違います。いろいろな仲間がいるから楽しいのです。それぞれ自分の「良いところ」を大切に、そして、友達の「素敵などころ」をたくさん見つけられる1年にしていましょ。と話しました。その後、6年生に手伝ってもらい、カードを使って十二支が覚えられよう、練習しました。この機会に生まれ年の干支や十二支に興味をもってけると嬉しいです。

